



JT Group

2024年度 第1四半期 決算説明会

古川博政

JT Group CFO

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。

※用語の定義については、スライド12以降に記載しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予測しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。

その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

1. 喫煙に関する健康上の懸念の増大
2. たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
3. 国内外の訴訟の動向
4. たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
5. 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
6. 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
7. 買収やビジネスの多角化に伴う影響
8. 国内外の経済状況
9. 為替変動及び原材料費の変動
10. 自然災害及び不測の事態等

2024年度 第1四半期実績：為替一定ベース・財務報告ベースともに増収増益



(億円)	2024年 1-3月	前年同期比
為替一定ベース		
Core revenue	6,767	+5.7%
調整後営業利益	2,310	+3.4%
財務報告ベース		
売上収益	7,403	+11.3%
調整後営業利益	2,267	+1.5%
営業利益	2,158	+4.6%
四半期利益	1,573	+8.7%

注：IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの実績は超インフレ会計の影響を含みます。
為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。

売上収益・調整後営業利益

- たばこ事業におけるプライシング効果が、HTS*への投資強化・サプライチェーンにおけるコスト増加の影響を上回る
- 加工食品事業においても増益
- 調整後営業利益における為替影響は、一部新興国通貨安及びコスト関連通貨高を主因としてネガティブに発現

営業利益

- 調整項目における商標権償却費の減少や不動産売却益の増加により増益

四半期利益

- 営業利益の増加に加え、金融損益の改善により増益

*HTS=Heated tobacco sticks

たばこ事業 数量実績：市場シェアは引き続き伸張、RRP販売数量は二桁の増加



(億本)	2024年 1-3月	前年同期比
総販売数量	1,329	+2.1%
Combustibles 販売数量	1,303	+1.7%
GFB販売数量	968	+6.3%
RRP販売数量	25	+25.2%

Combustibles

- 多くの市場でシェアモメンタムが継続
- GFB販売数量はWinston及びCamelの牽引により、前年同期比6.3%の増加
- EMAクラスターにおける力強い数量成長
 - 複数市場における堅調な総需要
 - アジアを中心としたGlobal Travel Retailにおける継続的な回復
 - 新興国における力強いモメンタム
- 日本、フィリピン、台湾、英国におけるCombustibles総需要の減少

RRP

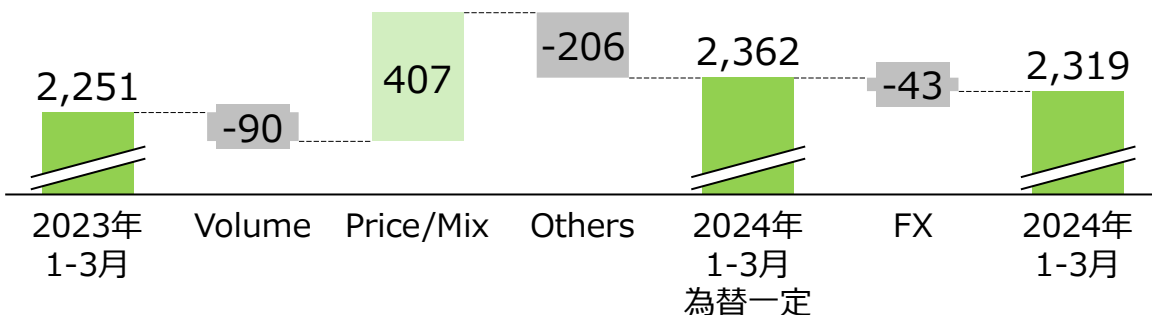
- 日本におけるHTSカテゴリ内シェアの伸張
- Ploom Xの新規ローンチ市場における数量貢献

たばこ事業 財務実績：プライシング効果が投資強化及びコスト増の影響を上回る



(億円)	2024年 1-3月	前年同期比
自社たばこ製品売上収益	6,533	+12.8%
(同 為替一定)	6,174	+6.6%
調整後営業利益	2,319	+3.0%
(同 為替一定)	2,362	+4.9%

調整後営業利益 増減要因 (億円)



注：IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの実績は超インフレ会計の影響を含みます。
 為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。

Volume

- 総販売数量は増加したものの、市場構成比の悪化により数量効果はネガティブ

Price/Mix

- 多数の市場におけるプライシング効果が、ダウントレーディングによるMix悪化影響を相殺

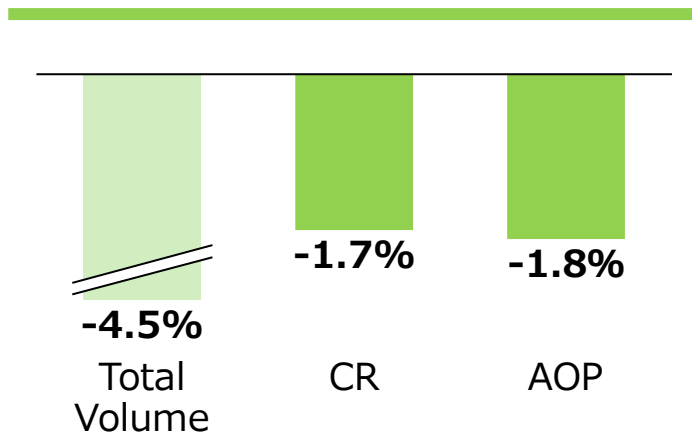
Others

- HTSへの投資強化
- サプライチェーンコストの増加

FX

- 一部新興国通貨安及びコスト関連通貨高を主因に、調整後営業利益に対しネガティブに発現

ASIA



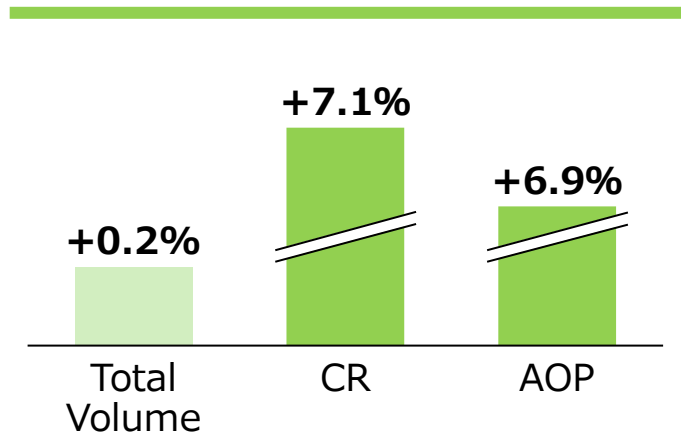
Total Volume

- フィリピン・台湾における市場シェア伸張
- 日本におけるPloom Xの伸長
- 日本・フィリピンにおけるCombustibles総需要の減少

CR/AOP

- 主にフィリピンにおいて発現したプライシング効果が、ネガティブな数量効果を一部相殺
- 日本におけるシェア伸張を企図したRRPへの投資
- サプライチェーンコストの増加

WESTERN EUROPE



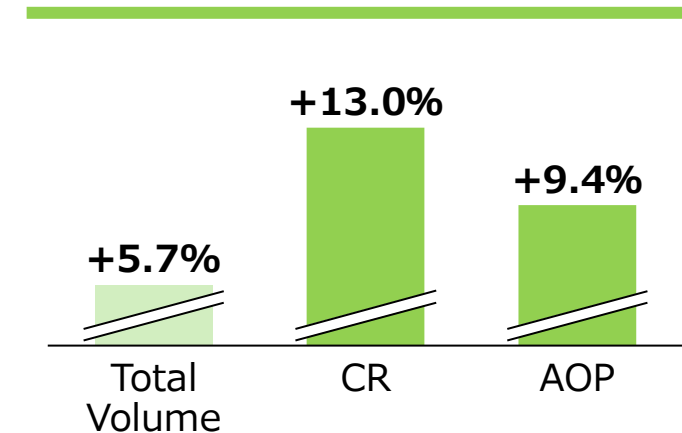
Total Volume

- イタリアをはじめとした複数市場における市場シェア伸張
- Ploom Xの地理的拡大による数量貢献
- 英国等における総需要の減少

CR/AOP

- スペイン・英国等におけるプライシング効果が、市場構成比の悪化によるネガティブな数量効果を相殺
- Ploom Xの地理的拡大に伴う投資強化
- サプライチェーンコストの増加

EMA



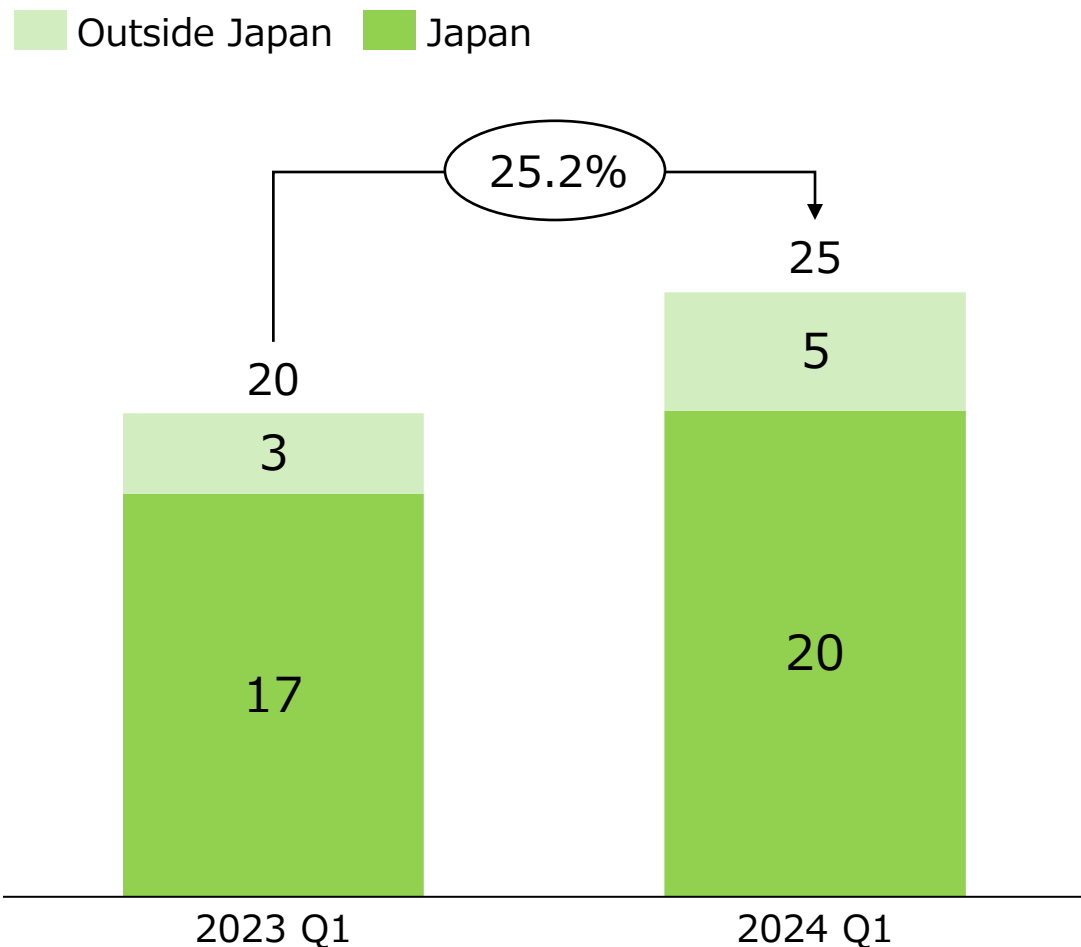
Total Volume

- 複数市場における市場シェア伸張
- アジアを中心としたGlobal Travel Retailの回復
- 複数市場における堅調な総需要

CR/AOP

- ポジティブな数量効果
- 複数市場におけるプライシング効果
- Ploom Xの地理的拡大に伴う投資強化
- サプライチェーンコストの増加

RRP販売数量（億本）



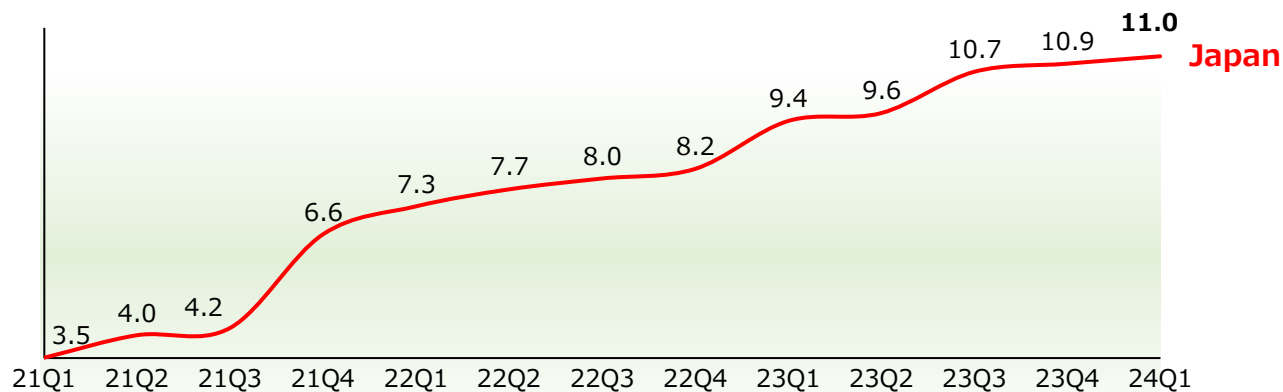
- 日本におけるPloom Xの販売数量増加及び2023年にローンチした市場における貢献が、RRP販売数量の増加を牽引
- Ploom Xの展開市場は17市場へと拡大、2023年末から4市場増加
 - 6月までに4市場において追加的な上市を予定
 - Ploom Xの地理的拡大は計画通りに進捗
- 2028年のRRP中期展望である「HTS key marketsにおけるHTSカテゴリ内シェア10%台半ばの獲得」及び「RRPビジネスの黒字化」に向けて順調に進捗

たばこ事業 Ploom X global overview :

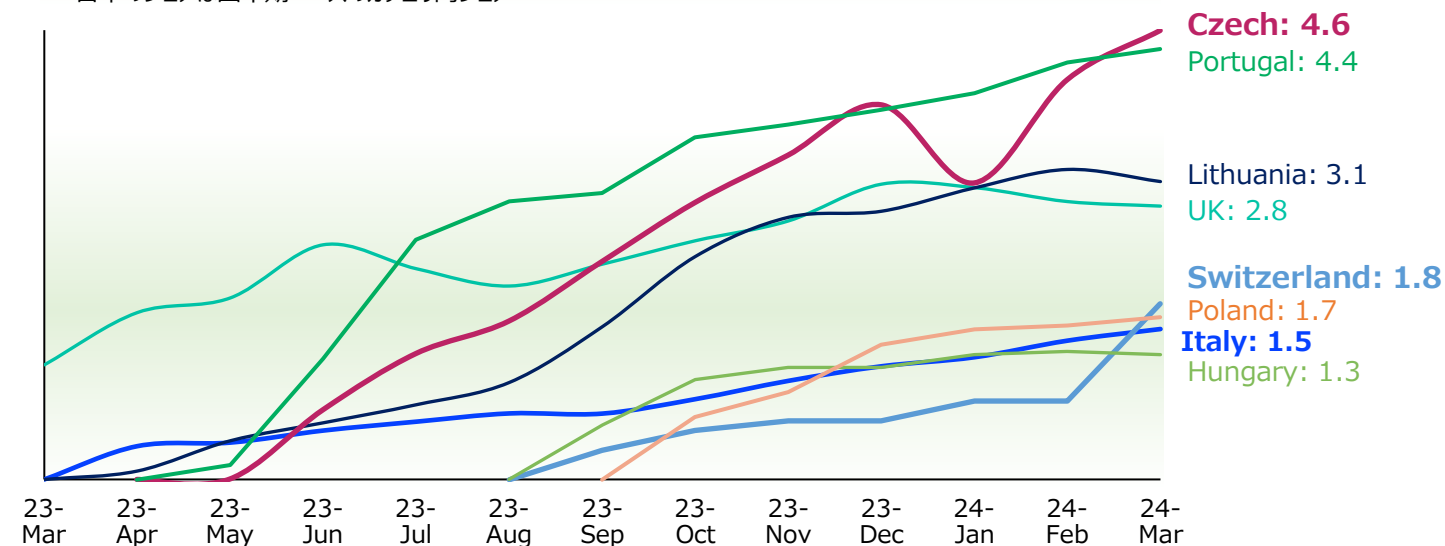
日本での継続的なシェア伸張及びローンチ市場における着実な成長



Ploom XのHTSカテゴリ内シェア**



* 日本のシェアは四半期ベースのカテゴリ内シェア



** 日本以外の市場はローンチエリアにおけるカテゴリ内シェア

Japan

- 競合の積極的なプロモーションや値下げにより競争が激化する中においてもシェアは堅調に推移。2024年3月のカテゴリ内シェアは11.3%

Italy

- 2023年11月の流通網強化以降、シェアは伸張傾向

Czech、Switzerland

- 発売以降シェアは順調に伸張。Czechでは9か月で4.6%、Switzerlandは7か月で1.8%のシェアを獲得

- 各市場において全国拡販を加速化

医薬事業

(億円)	2024年 1-3月	前年同期比 増減
売上収益	233	▲16
調整後営業利益	38	▲31

加工食品事業

(億円)	2024年 1-3月	前年同期比 増減
売上収益	357	+1
調整後営業利益	20	+6

売上収益

- 鳥居薬品において皮膚疾患領域・アレルギー領域の売上が伸長したものの、2023年に発生した導出品のライセンス契約に係る一時金収入の剥落により、減収

調整後営業利益

- 売上収益の減収に加えて、研究開発費の増加により、減益

売上収益

- 価格改定効果が、製品ポートフォリオの見直しに伴う一部製品の販売終了に伴う影響を相殺し前年同水準

調整後営業利益

- 前年度に実施した価格改定効果が、原材料費の高騰等を上回り、増益

Closing remarks

1-3月期実績

- 引き続きたばこ事業におけるプライシング効果が牽引し、力強い実績
- 加工食品事業の増益もグループの利益成長を補完

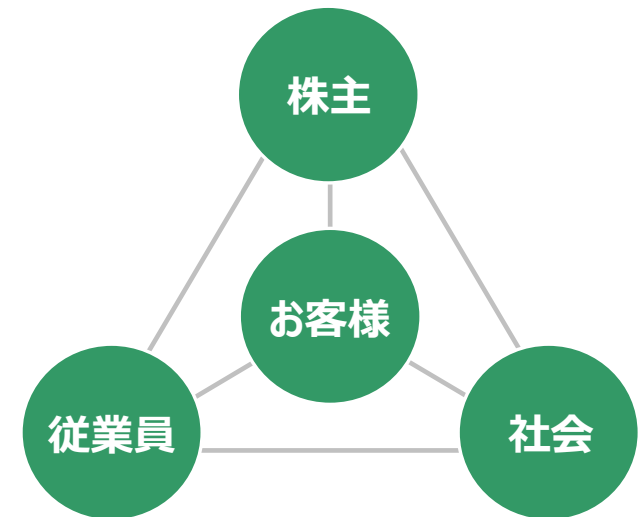
2024年 通期業績見込

- 事業パフォーマンスは堅調に推移しており、通期業績見込の達成に向けて順調な滑り出し
- 為替動向を含め、不確実性を見極めた上で第2四半期決算以降、必要に応じて通期業績見込のアップデートを実施

Ploom X 地理的拡大

- Ploom Xの地理的拡大は計画通りに進捗
- マーケティング戦略の更なる改善に向けて、ユーザーからのフィードバックを収集・活用
- 2028年のRRP中期展望に向けて順調な進捗

心の豊かさを、
もっと。



<用語の定義>

調整後営業利益 (AOP) :	営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目 (収益及び費用)* *調整項目 (収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース :	前年同期の為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準 (IFRS) に基づく財務報告に代わるものではない
為替一定ベースcore revenue :	前年同期の現地通貨対米ドル、米ドル対円の為替レートを用いて換算/算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益 + 医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準 (IFRS) に基づく財務報告に代わるものではない
当期利益/四半期利益 :	親会社の所有者に帰属する当期利益/四半期利益
Reduced-Risk Products (RRP) :	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおけるheated tobacco sticks (HTS), infused-tobacco capsules (Infused), E-Vapor, 無煙たばこ製品等が含まれる
Heated tobacco sticks (HTS) :	高温加熱型の加熱式たばこ。1スティック = RMC1本として換算
Combustibles :	製造受託/水たばこ/加熱式たばこ/無煙たばこ/E-Vaporを除く可燃性のたばこ製品
GFB : (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランド

<用語の定義>

総販売数量： 水たばこ／製造受託／RRPデバイス及び関連アクセサリを除くたばこ製品の販売数量

Combustibles販売数量： 水たばこ／E-Vapor／無煙たばこ（Snus・ニコチンパウチ）／加熱式たばこ／製造受託を除くたばこ製品の販売数量

RRP販売数量： Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数（RMCとして換算）。デバイス/関連アクセサリ等は含まない

自社たばこ製品売上収益： 物流事業／製造受託等を除く売上収益